

平成 23 年 11 月 11 日  
三菱 FBR システムズ株式会社

弊社は、平成 23 年 11 月 7 日会計検査院報告にて発表されましたとおり、次世代型高速増殖炉に関する革新技術開発に係る契約については、平成 23 年度契約分より日本原子力研究開発機構殿との契約を精算に係る特約条項付概算契約として締結しております。

これは会計検査院殿より日本原子力研究開発機構殿が、契約の透明性を高めるよう改善を求められた事を受け、弊社としても本御指摘を真摯に受け止め、その改善対策に全面的にご協力するものです。

今般、会計検査院殿より指摘のありました平成 20 年度、21 年度契約分については、日本原子力研究開発機構殿との契約時において、日本原子力研究開発機構殿が、弊社見積金額を減額の上契約しており、当該年度の決算時における利益につきましては適正な範囲と考えておりますが、一層の透明性確保の観点から、精算に係る特約条項付概算契約としたものです。

今後共、日本原子力研究開発機構殿の御指導の下、次世代型高速増殖炉開発の中核会社である 三菱重工業株式会社とも連携を取りながら業務を進めてまいり所存です。